



平成31年 7月3日

# 第2回 勇希の会

横浜市大センター病院 造血幹細胞移植 患者会 第2号

## 勇希の会

これから移植をする人や移植後の生活で困っている人の助けになりたい、役に立ちたいという思いから、勇希の会は設立されました。この場が困っていることや不安な気持ちを受け止める場所、話すことで気持ちが楽になれる場所になれば良いと思います。

勇希の会は、**勇気**を持って病気に立ち向かえば、**希望**は叶うという意味が込められています。



## 司会：原子さん

13-2病棟菅家師長の挨拶から始まり、今回は鈴木美智子看護部長と元師長の白濱師長が来てくださいました。参加者は、患者さん12名、ご家族4名、運営スタッフ5名、看護師4名が参加しました。



## 前半：体験談

第2回目は、移植を受けた患者さんのご家族の方に、家族としての体験談を話していただきました。

家族の方も、同じように辛く、苦しい思いをたくさんされていますが、患者さんが辛く厳しい治療を乗り越えられるのは、家族の支えが一番だと思います。普段ではあまり聞けない、家族の立場での貴重な話でした。

## 後半：グループワーク

3グループに分かれ、約1時間『退院後の生活で困っていること』をテーマにフリートークしました。移植後の食事についてや、入院中のこと、ご家族の思いなど、どちらのグループも大変盛り上がっていました。その中で『移植後の気力（モチベーション）を保つために何をしているか』という話がでました。次回のグループワークのテーマにしたいと思います。

## 次回の課題

- ・前半はテーブル不要。椅子のみ並べる。
- ・グループワークで3つに分かれたが、人数が多くなるとなかなか話がまわってこないことがあるので調整する。運営スタッフが多い場合、スタッフがグループを回る。入院患者さんのいるグループは、病院スタッフが入る。グループワークの時にグループをシャッフルしても良い。グループワークで隣のグループの声が聞こえてグループ内の声が聞こえないときがあるため、グループの輪はできるだけ離す。
- ・グループワーク終了後、話し足りない人がいるようなので、10分程度フリー時間を作って話しても可。グループワーク後フリー時間の案内をする。
- ・運営スタッフの参加・不参加を1週間前までに、原子さんがまとめて病院のメールで知らせる。

## 次回からの勇希の会日程

### 第3回 勇希の会

2019年10月9日(水)

13:00~15:00

本館4階会議室

齋藤敏雄さんの体験談

### 第4回 勇希の会

2020年3月11日(水)

13:00~15:00

本館4階会議室